

2012年(平成24年)

3 | 12

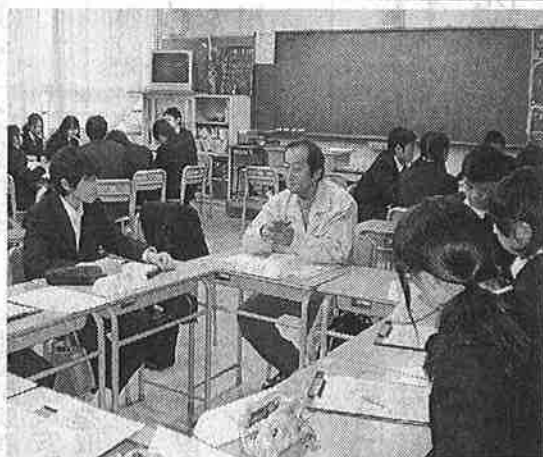
(月曜日)

原田運送 「仕事の大切さ」伝える 中学生と交流

【神奈川】原田運送(原田周二社長、神奈川県横須賀市)は2日、横須賀市などが実施している「よこすかキャリア教育推進事業」の一環としてドライバー2人を地元の中学校に派遣

し、仕事の大切さや厳しさなどについて生徒と意見交換した。

同事業は、横須賀市、同教育委員会、同商工会議所(木村忠昭会頭)が連携して行っている教育現場の支



マイタウン
 ティーチャー
 ーとして中
 学生の質問
 に答える堺
 さん

援事業。市内で働く様々な職業のプロを「マイタウンティーチャー」として中学校の総合学習の授業に派遣したり、中学生の職場体験をコーディネートするなどして職業観や勤労観の啓発につなげている。

今回は信用金庫、損保会社、郵便局、ケーブルテレビ会社などに勤める24人が市内の田浦中学校を訪問。原田運送からは大型トラックドライバーの堺邦彦さんと大畑剛さんの2人が参加

の職場体験で感じたことをそれぞれ発表。堺さんは「仕事は人間が人間らしく生きていくための手段。疲れた時には上手な息抜きも大切」とアドバイスした。また、「ドライバーの職業を通して何を学びましたか」との質問に対し「人命の大切さ、いかに荷物を安全・正確に届けるかについて、業務を通じて毎日学び、考えています」と説明した。

(吉田 英行)

し、中学2年生のグループと交流した。

生徒はコンピニエンスストア、駅、介護施設などで